



# 地域病院建築事業(川湯の森病院新築工事)

提案者(事業者)	医療法人共生会 理事長：齋藤浩記
設計者	株式会社中村勉総合計画事務所
施工者	戸田建設株式会社札幌支店
建設地	北海道川上郡弟子屈町川湯温泉67-1ほか

竣工済につき  
簡略版としています

竣工済

## 提案の概要



### A. プロジェクト全体の概要

- 北海道道東に位置する弟子屈町川湯温泉地区に内科・心療内科外来、病床100床の病院を建設する。
- 温泉を利用した暖房設備、高気密高断熱仕様によって、環境負荷低減、大幅なCO<sub>2</sub>排出量削減を目指した施設計画とする。
- 将来的に地域の病院と連携した診察や、温泉旅館と連携した人間ドックのプログラムにより、地域の医療・福祉・観光の発展を目指す。

### B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容

- 道産材を活用した木構造、木質空間により、木のぬくもりに溢れた病院を実現する。
- 耐火性能、避難性能を考慮し、RCコアを介して木造を連続させる。
- 水平力は主にRC造部分に負担させ、木造部分は耐力壁を減らした開放的な空間とする。
- 流通規格材を利用しながら、開放的なスパンを実現する。

### C. 提案のアピールポイント

- 小規模の木造病室(4床室×4室×2階)をRCコアと避難バルコニーで防災上の安全を確保した上、管理の目配りの効く親しみやすいもう一つの“家”としての木質空間という特徴を持つ。
- 耐力壁を減らした開放的な空間を木造建築で実現する。
- 一般住宅に用いられているのと同じ流通規格の材料を利用し、木造住宅の生産システムを活用し、コストを削減しながら、木造建築物を実現。



竣工した建物の全景

## 評価のポイント



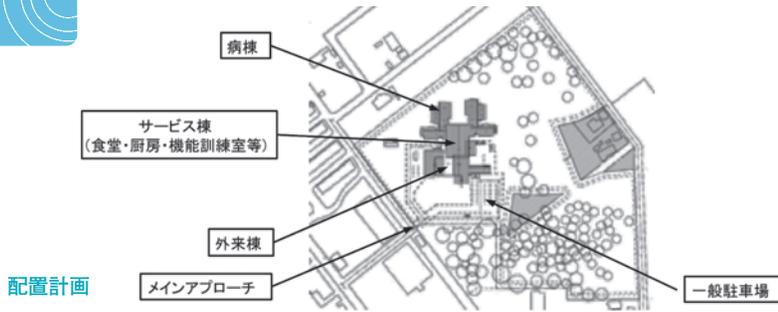
木造の病室をRC造コアでつなぐことにより、大規模木造を実現する計画。病室ユニットの2階部分の床面積が300㎡未満になるように計画することにより、病室ユニットを木造とした。水平力を主としてRCコア部分に負担させることによって、一般的に流通している120mm角を主な部材とした、開放的で自由度の高い空間を計画。また、RC造コア部分に階段などが内包され、万一の場合は、避難・消防活動の拠点にもなるように工夫されている。

このプロジェクトの  
先端性・先進性

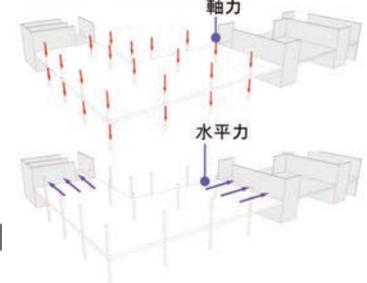
- 防災、耐震性能を高め、中規模木造病院の建築を実現し、木造建築の可能性を広げる。
- RC造コアを介して木造を連続させる。→耐火性能の確保・水平力をRCに負担させた開放的な木造空間の実現。
- 一般住宅と同じ流通規格の材料を利用し、木造住宅の生産システムを活用する。
- 構造材、仕上材についてできる限り産材を利用する。

このプロジェクトの  
波及性・普及性

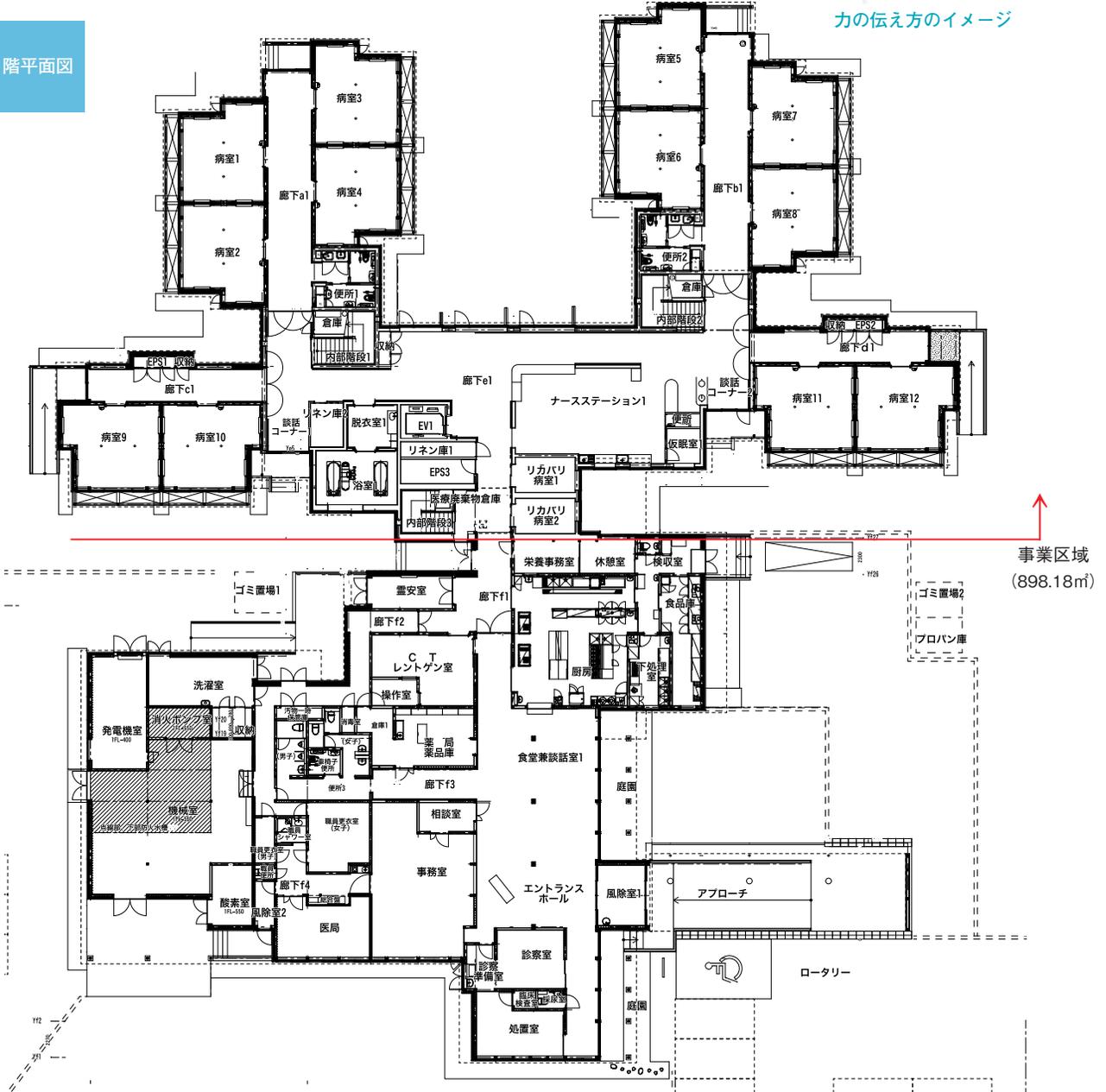
- 木質空間は、患者の心理的感情的な落ち着き効果を得る。病院に相応しい建築とすることで、木の病院をアピールする。
- 木造住宅の生産システムを活用した本計画規模の建築の実現は、汎用性のある木造建築の工法として波及・普及が期待される。



水平力をRCコアで負担。  
木造部分の柱(120角)で軸力を受ける  
⇒開放的で自由度の高い空間



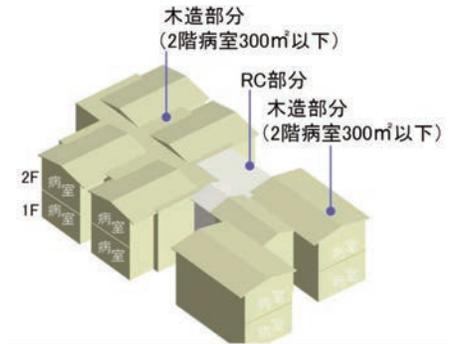
1階平面図



力の伝え方のイメージ



木質化された病室



RCコアの考え方



避難計画

ナースステーションを含むRC造部分（RCコア）に3つの直通階段を設置する。RCコアからクラスター状に4つの木造病室群が配置される。

プロジェクトデータ



提案者(事業者・建築主)、設計者・施工者、建設地は扉頁参照

建物名称：川湯の森病院

主要用途：病院・診療所

主要構造：■木造（ ■軸組構法 □枠組壁工法 □丸太組構法 □その他） □鉄骨造 ■鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋コンクリート造 □その他

防火地域等の区分：□防火地域 □準防火地域 □法22条区域 ■その他の区域

耐火建築物等の要件：□耐火建築物 □準耐火建築物（60分耐火） □準耐火建築物（45分耐火） ■その他の建築物

敷地面積：28,507.82㎡

建築面積：1,946.23㎡

延べ面積：2,981.53㎡

軒高：8.74m

最高の高さ：9.14m

階数：地上2階

事業期間：平成22年度～23年度

補助対象事業費：351,518千円

補助金額：74,384千円



事業の実施体制



事業スケジュール





川湯の森病院の全景



病棟部の外観



アプローチ、エントランスまわり



エントランスホール



病棟部、ナースステーションを見る



病室前の廊下



病室